

音更町総合計画審議会会議結果（要旨）

会議名	令和2年度第2回音更町総合計画審議会
開催日時	令和2年8月6日（木） 午後6時30分から午後8時5分
開催場所	音更町役場 3階特別会議室
委員出席者	大庭委員、岡田委員、岡庭委員、梶谷委員、河田委員、古川委員、田中委員、東端委員、西川委員、野久委員、野村委員、畠委員、波多野委員、林委員、藤川委員、三上委員 【計16名】
町側出席者	鈴木総務部長、荒井町民生活部長、重松保健福祉部長、傳法経済部長、下口谷建設水道部長、岸本会計管理者、草浦議会事務局長、福井農業委員会事務局長、八鍬教育部長、重堂企画課長、深谷財政課長、佐藤総務課長、木谷情報・防災課長、松井町民課長、原環境生活課長、早苗農政課長、吉田産業連携課長、山本商工観光課長、高野土地改良課長、井原都市計画課長、高瀬土木課長、田村建築住宅課長、平賀上下水道課長、藤原学校教育課長、高山音更消防署長【計25名】 《事務局》渡辺企画財政部長、新名企画課参事（総合計画策定）、大井企画調整係長、田中同主任、松本同主事、津久井まちづくり政策推進員【計6名】 《委託事業者》株式会社道銀地域総合研究所・北嶋業務部長、渡邊研究員【計2名】
議題・諮問内容	1 会長あいさつ 2 議案 （1）第6期音更町総合計画の方向性について （2）分野別基本計画調書について 3 その他
会議資料	「第6期音更町総合計画の方向性【追加資料】」、「分野別基本計画調書」
会議結果	下記のとおり
出された主な意見等	<p>■ 第6期音更町総合計画の方向性について</p> <p>委員：【まちの将来像】（1）「多様性が育む 選ばれるまち おとふけ」のところで、「選ばれる」ということは、「人口対策の目標を示している」というふうに書かれているが、この点についてもう少し詳しく説明していただきたい。</p> <p>事務局：「選ばれる」は、人口対策の目標を示して記載しているが、音更町でも段々と人口が減ってきている中で、すでに音更に住んでいる方にはそのまま住み続けていただき、町外に住む方については、音更町に転入することを選んでもらうことで人口増加につながるといった人口対策等の希望が込められている。</p> <p>■ 分野別基本計画調書第1章について</p> <p>委員：【分野1 農業〔経営〕】（2）担い手、労働力の確保、④農福連携事業の取り組みを進めます について、「農福連携」とはどのようなことを考えているのか。</p> <p>事務局：現在、農福連携事業の取組は1件実施している。農業における労働者不足が</p>

	<p>問題視されている中で、福祉側から担い手として農業に参加してもらおうことで、WIN-WINの関係になれるので、今後とも事業を進めていきたいと考えている。しかし、農業の方は季節の関係上、通年で雇用できる状況にないといった課題があるため、今後検討していきたい。</p>
委員	<p>【分野1 農業〔経営〕】十勝における農業のデメリットは、冬場は作物の生産ができない点だと思うので、今後冬場の生産について検討したほうがいいのではないかと考える。例えば、現時点で実施している温泉熱を利用した施設の規模拡大など、考えているものがあるのであれば、文言に入れてみてはどうか。また、研究的、試験的なものでプラン等があれば、行政としてもバックアップしていただければと思う。</p>
事務局	<p>生産者農業については、温泉熱、バイオマスを活用することも考えられないことではないが、それに対する設備投資や費用対効果について考えると現段階では活用することは難しい。しかし、今後将来的にそのような提案が出てきた場合、当然検討する。</p> <p>また、本町では温泉熱や雪氷、雪を貯めておき、九州でマンゴーが取れない時期に町内でマンゴーを栽培した事業者に対して、補助事業を導入したといった実績がある。ご意見として賜りたい。</p>
委員	<p>【分野1 農業〔経営〕】コロナ影響で外国人実習生がいなくなってしまう大変だという話を聞いたが、参考までに町内の状況を聞かせていただきたい。</p>
事務局	<p>今のところ実習生の状況については、まちや農協も詳細を押さえておらず、(外国人実習生が減った等の)話も特段聞いていない。</p>
委員	<p>【分野1 農業〔経営〕】1 農業【経営】、施策・施策の内容(3)環境への負荷に配慮した環境保全型農業の推進、②環境への負荷に配慮した廃棄物の適正処理、管理、再利用を進めます とあるが、この廃棄物とは具体的にどのようなものか。</p>
事務局	<p>例えば、家畜の糞尿などを堆肥にして活用する等を考えている。</p>
委員	<p>【分野3 林業】(3)森林の新たな活用【農政課】④乳幼児健診時に森の輪を贈呈し、森や木に親しみを持ってもらうように努めます について、「森の輪」というのはどういうものか。また、今まではこのようなものの贈呈はしていなかったのか。</p>
事務局	<p>「森の輪」は木で作った直径10cm 弱くらいの丸いもので、掴んだり、しゃぶったりとかができる丸い輪のようなものである。今まで贈呈したことはなく、森林環境譲与税が町に譲与されることになったため、それを活用し、乳幼児健診の際に配るものである。帯広の業者で作る予定だが、町内の業者でできないかどうか、協議して検討したい。</p>
委員	<p>【分野3 林業】(3)「森の輪」は、音更町内の業者で作っているのか。また、音更町内にも木工をやっているところがあるかと思うので、できれば町内の業者を活用した方が良いと思う。</p>
事務局	<p>帯広の業者で作っているが、町内の業者で作ることができないか検討する。</p>
委員	<p>【分野3 林業】(3)森林の新たな活用【農政課】④乳幼児健診時に森の輪を贈呈し、森や木に親しみを持ってもらうように努めます について、「森の輪」の作成を音更町内の業者に依頼にする方が良いといった話がでたが、町内の業者を使うことで事業承継を図るだとか、まちの活性化につながっていくと思うので、積極的に検討していただきたい。</p>

事務局	： こういうものを活用しながら事業承継も含めて、今後検討していきたい。
委員	： 【分野3 林業】(3)森林の新たな活用【農政課】④乳幼児健診時に森の輪を贈呈し、森や木に親しみを持ってもらうように努めます について、「森の輪」に使われている木材は、音更町産の木材か。
事務局	： 音更町産の木材である。
委員	： 【分野4 商業】現状と課題(統合)の◆印4番目、「消費者ニーズや高度情報社会に対応するため、キャッシュレス化の推進をはかるとともに、大規模災害等に対応するためBCP(※)を策定するなど、経営の安定と持続化が求められています。」について、2点ほどお聞きしたい。 (1)BCPについて、「災害などの緊急事態が発生したときに損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための事業継続計画」とあるが、具体的にどんなことをイメージしたら良いか。 (2)「第6期音更町総合計画の方向性の追加資料」の基本構想の文言修正のところで、「社会保障制度の充実と国土強靱化、ICPの整備」に、「感染症対策」が加えられたとあるが、これはBCPに含まれているのか。感染症対策については、どのように考えているのか。
事務局	： コロナウイルス感染症に関するBCP、いわゆる事業継続計画は5月に策定済みであり、役場職員がコロナに罹患した場合、その係、課の職員が出勤できなくなるため、各課の事務事業を見直し、どの事業を優先させるかというような内容となっている。コロナウイルス感染症は災害とは違い、出勤できない職員が出てくるので、各事業所もその点を想定してそれぞれBCPを策定するという形となっており、また大規模災害が起きた際に各事業所がストップしてしまうと社会的に混乱が起きることが想定されるため、対策についてBCPを策定し、支援をしていくことを考えている。
委員	： 【分野6 観光】施策・施策の内容①の中にある「非日常」という記載についてまちの考えを聞かせてほしい。
事務局	： 温泉街においては、例えば、夜になれば模様をつけて穴を空けて、それを道路に飾る等、現時点ですでに実施しているものがあり、そのような非日常的な景観や都会では味わえない自然を十勝川温泉街で味わってもらえるよう取り組みをしていきたいと考えている。また、音更町としての強みで言えば、やはり農業が中心のまちなので、有名な小麦やニンジンなどを用いた食について、発信していきたい。
委員	： 【分野6 観光】音更町の特性や強みは何か考えを聞かせてほしい。
事務局	： 音更は農業が中心のまちなので、それを用いた食、それから自然を音更の特性として活かしていきたい。
委員	： 【分野6 観光】他のまちと差別化が図れるような、音更町の特性や誇れるところは何かと考えるか。町外の人に説明する時の音更のイメージが何かないか。
事務局	： 農業で言えば、小麦、ニンジンを音更町の特産として活かしていく。
委員	： 【分野6 観光】ガーデンSPA十勝川温泉が道の駅として変わってから、集客数が増えた等効果はあったか。
事務局	： 道の駅という看板があると、それが目的で来るお客様が増えた。道の駅が開業してからは、物販の面でも効果があった。

委員	【分野6 観光】ウィズコロナを今後どうするのか、様々な形で感染症対策をきちっとする必要があるのではないかとということで協会も関わってきたが、その中で、海外観光客が平成29年度は7万8,000人、現在は日本人の国内移動も含めて、ほとんど来られない状況にある。この7万8,000人の海外観光客について、宿泊の人員が令和12年に45万人までという目標値は達成できるのかももう一度考えていただきたい。また、持続可能な宿泊人数はどこにあるのか、町で良い知恵があれば伺いたい。
事務局	報道等でインバウンドは5年ほど戻ってこないといわれており、国内観光客を十勝川温泉に呼び込むためにどのような方策を打つのか、我々町としてもいろいろな方策を考えていきたい。観光協会や、一般共同組合ともいろいろと知恵を出し合いながら取り組んでまいりたい。
委員	【分野6 観光】音更町や十勝川温泉の魅力を活性化させ、交流人口を増加させるためには、SDGsの8番と9番以外に11番、12番等の基本的な考えを含めて考えていかなければ、観光地として生き残れないのかなと思うので、考慮いただきたい。
事務局	11番、12番についても重要な課題であるため、検討する。
委員	【分野6 観光】音更メロディーラインについて、どこからどこまでの道を指しているのか。また、どのような魅力を発信しているのか。
事務局	雄飛が丘に入る町道から真っすぐ東に向かって国道を越え、旧昭和小学校の前の道路をずっと温泉の方に進む道の一部をメロディーライン呼んでおり、音更町の畑や景観を見ることができる。畑にヒマワリを植えたり、起伏があったりする。
委員	起伏があることによって、リズムをつくるという意味でメロディーラインとつけたのか。
事務局	起伏ではなく、音更の音というものをイメージしてメロディーラインという名前をつけたようである。
委員	ひまわり畑や景観だけでは、物足りないような気がする。メロディーという名前のおり、どこかで音が鳴る等の工夫はないのか。
事務局	車が走ると音が鳴る等のアイデアがあったとのことだが、維持管理等が難しいため断念した。本州方面から来たお客様に自慢できるような魅力について、今後商工会とも協議しながら検討していきたい。
委員	【分野8 勤労者の保護】施策・施策の内容(2)就業・雇用の支援、④「町内企業と新規学卒者をつなぐ取り組みを商工会と連携して推進します。」について、具体的な取組はどのようなことを考えているのか。また、この取り組みは新規学卒者に限っているのか、中途の方や高齢者の方についても含まれているのか教えていただきたい。
事務局	大谷短大と音更高校の学生を対象として行うものであり、すでに先週大谷短大で企業説明会があった際は町内の事業者を集め、学生に説明を行った。高校についても、学生を対象に企業説明会を行うことで商工会と進めており、8月20日頃に打ち合わせを予定している。今後は企業訪問等にも取り組んでいきたいと考えている。
委員	【分野6 観光】施策・施策の内容①の十勝川温泉市街の環境整備について、「非日常を感じ、歩いてみたくなるような」の部分については、どのようなテーマ、ステップで決めていくのか教えていただきたい。
事務局	十勝川温泉の道路を利用して光の回廊を作ったり、フットパスなど、散策で

	<p>きるようなものをイメージして今後整備を進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>： 大きなテーマ、方向性は、既に決めているか。先ほどの自然を生かしたというような話もあったが、明確な方向性が必要だと思う。また、専門家の方や町民も含め、いろいろな意見を聞く場を過去に持ったことがあるのかどうか。</p>
事務局	<p>： 温泉市街地の整備については、過去色々行っており、温泉市街地を含めた十勝が丘公園もあるので、その再整備についても色々な御意見を聞きながらやっている。それも含めた中で、一体的な温泉市街の整備ということで進めている。</p>
委員	<p>： すでに実施段階に移っているという理解でよろしいか。</p>
事務局	<p>： 公園整備については、実施段階である。</p>
委員	<p>： 【分野5 工業】企業誘致の中に、新しく商工業者がこのまちで事業を始める際の支援について記載がなかったが、そのような計画はどこに記載され、どういった形で行われるのか。</p>
事務局	<p>： 現在、空き店舗の活用については支援があるが、新規創業者に対して、これというような支援策はとっていない。今後、施策・施策の内容に記載のとおり、テレワークの取り組みを想定しているため、本州からのテレワークやワーケーション等に対して、何らかの支援を考えていかなければならない。</p>
委員	<p>： もちろん新しい構想という事業は大変重要かと思うが、地域から新しいものが生まれるということも、また一つ重要かと思うので、そういった支援を今後考えていただければと思う。</p>
委員	<p>： 【分野6 観光】現状と課題、◆印8番目に、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町の広域的な連携により観光振興を図るといった内容が書かれているが、対して右側の施策・施策内容の欄には具体的な施策が記載されていない。富良野などは近隣の町村と競い合うような形で価値を高めていくというのが見受けられるが、広域的な形でやる施策あるのか。</p>
事務局	<p>： 施策・施策の内容の(1)④、⑤が質問に対しての具体的な施策である。実際にこの4町で海外プロモーションを行ったり、広域観光ルートの特定を行うなど取組を行っている。今後もよりこのような情報発信に力を入れ、観光客に利用してもらいたいと考えている。</p>
委員	<p>： 長流枝に住んでいるが、十勝川温泉へのアクセスがわかりづらく、通りすがりの観光客に温泉への行き方について聞かれることや携帯電話が通じない場所のため、「このまちはやる気があるのか」といった苦情を受けたことがある。過去に役場に依頼して、道路標識に「十勝川温泉」と記載されたプレート入れてもらったところ、道に迷う人は減少したように感じるが、それでもまだたまに問い合わせを受けることがあるため、北十勝全体でも連絡を取りながら、その上で音更町でどのような施策をとるのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>： 道に迷って温泉の方に行けないといった声や、携帯がつかない場所がある等、ご不便をおかけしている点について、今後解決策を検討していきたい。また、携帯電話の件については、以前からNTTを中心にインターネットの運用を行っており、委員の自宅前までドコモの電波が来ているといった情報はあるのだが、引き続き関係者に要望していく。</p>